

みどいのこだま

～ふくしまから はじめよう～

福島県相双農林事務所農業振興普及部
〒975-0031 南相馬市原町区錦町1-30
TEL (0244) 26-1151
FAX (0244) 26-1169
E-mail: shinkouhukyu.af06@pref.fukushima.jp

トマト産地の復興に向けて

～土壌を使わない簡単な養液栽培の実証が進められています～

相馬地方のトマト産地は、地震・津波の被害、原子力発電所の事故による避難等により、規模が大きく減少しているため、産地の復興に向けて、土壌を使わない簡単な養液栽培の実証が南相馬市内の2か所で進められています。

J A そうまでは、大きなポットにヤシガラを入れ、点滴チューブを使って肥料・水を自動で与える栽培の実証をしています。南相馬市原町区内で、6月中旬に定植を行い、現在、収穫・出荷時期を迎えており、生育は順調です。

また、南相馬市鹿島区内では、イスラエルから寄贈されたヤシガラの入ったバッグに点滴チューブを通して、自動で肥料・水を与える方法を実証しており、5月下旬に定植し、現在、生育は良く、収穫・出荷作業に入っています。今後、両栽培方法ともに、生育や収量、導入コストなどを取りまとめて検討する予定です。どうぞ、ご期待下さい。



写真：
収穫期のトマト
(左：原町区)
(右：鹿島区)

ジョイント栽培した日本なしが初成り

日本なしのジョイント栽培は、神奈川県農業技術センターが開発した特許技術で、主枝を片側一方向へ延長し、先端部を隣接樹へ接ぎ木し、直線状に連結した樹型に仕立てることで超早期成園化できる技術です。

樹型が直線状のため、一般的な樹型に比べ管理作業が単純化され、労力の軽減が図られます。また、なし栽培の経験がない生産者でも習得しやすい技術です。

相馬地方では、平成21年に実証ほを設置して試作しており、これまで順調に生育し、今年初成りしました。なお、9月中旬に現地の実証ほで研修会を実施する予定ですので、関心のある方は、農業振興普及部までお問い合わせください。



写真：
ジョイント栽培
した日本なし
(左：今年2月)
(右：今年8月)

米の全量全袋検査の実施について (1)

平成 24 年産米からは、放射性セシウム濃度の新たな基準値が設定され、1 キログラム当たり 100 ベクレルを超える米の流通・販売はできなくなっております。基準値を超える米を市場に流通させず、消費者に安全な米を届けることは産地の責任であり、本県産米に対する信頼を回復する上で不可欠な取組みです。また、皆さんが毎日食べる米や親戚等にお贈りする米についても、同様に安全を確認する必要があります。

このため、県では、「緊急時環境放射線モニタリング検査」とあわせて、県内で生産された全ての米（飯米、縁故米を含む）を対象に放射性セシウム濃度を検査する「全量全袋検査」に取り組むことといたしました。農家の皆様には、お手数をおかけいたしますが、24 年産米は必ず全ての米袋を検査した上で販売、譲渡、消費くださるよう、よろしく願いいたします。

- モニタリング検査の結果により旧市町村単位で出荷自粛が解除された後に、全量全袋検査を実施してから販売、譲渡、消費してください。
- 自家飯米や縁故米、ふるい下米も検査対象になります（検査終了後、お返しいたします）。ふるい下米も 30kg に袋詰めして下さい。
- 検査は丁寧に行いますが、袋の損傷のおそれがありますので、ふるい下米であっても、新袋の利用に御協力をお願いします。
- 収穫乾燥調製後、地域協議会から送付されたバーコードラベルを米袋ごとに貼付をお願いします。（余ったラベルは回収します。不足する場合は、協議会へご連絡下さい。）
- J A や集荷業者に出荷する場合は、J A や集荷業者が集荷した後、検査場に搬入して検査を行います。
- 検査により、1kg 当たり 100 ベクレルを超えた場合は、旧市町村単位で出荷制限がかかりますが、旧市町村全体の生産量・出荷先等を把握し、全量全袋検査することで一部出荷が可能になります。
- 検査申込書、バーコードラベルを送付しますので、申込書は返信用封筒で御返送下さい。
- 検査場所、検査日等の詳細は、地域協議会にお問い合わせください。

〈問い合わせ〉

- 福島県相双農林事務所農業振興普及部（農業振興課）
電話番号：0244-26-1147
- 相馬の恵み安全対策協議会（相馬市役所農林水産課）
電話番号：0244-37-2151
- 新地の恵み安全対策協議会（新地町役場農林水産課）
電話番号：0244-62-2194
- 南相馬の恵み安全対策協議会（南相馬市役所農林放射線対策課）
電話番号：0244-24-5299



米の全量全袋検査について (2)

相馬地方の米全袋検査場所は、以下の表のとおりです。出荷される米だけでなく、飯米、縁故米、くず米等も検査いたしますので、検査後の安全性が確認された米を販売、譲渡、消費していただけますよう御協力をお願いします。

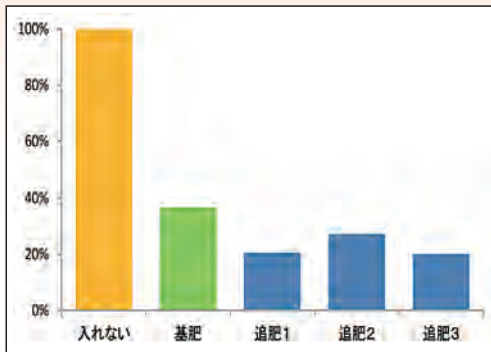
ご不明な点につきましては、相双農林事務所農業振興普及部か各地域の安全対策協議会（各市町村の農林水産課等）にお問い合わせください。

市町村	米全袋検査場所	検査場所住所	配置台数（メーカー）	備考
相馬市	・ J A そうま 日下石 テント倉庫	相馬市日下石字諏訪 3 0 - 2	2 台 (株)日立造船	
	・ (有)安齊商店倉庫	相馬市赤木字鬼越 5	1 台 (株)日立造船	
	・ (農)浜通り農産物供給センター倉庫	相馬市石上字南白髭 3 2 0 新地町小川字仏方 3 1	1 台 (株)キャンベラ	12 月～ ～ 12 月
南相馬市	・ (株)丸昭物産搗精工場	南相馬市鹿島区寺内字中才 6	1 台 (株)キャンベラ	6 台は 25 年度導入
新地町	・ J A そうま 谷地小屋 低温倉庫	新地町谷地小屋字駒込 5 0 4	1 台 (株)島津製作所	

放射性物質関連の試験研究について

福島県農業総合センターの最近の成果を紹介します。

○ 水稲での塩化カリ追肥は放射性セシウムの吸収抑制に効果的



カリ肥料を使用しない場合の玄米の放射性セシウム濃度を 100 としたとき、基肥や追肥で塩化カリを施用すると、左図のように玄米中の放射性セシウム濃度が減少する試験結果が得られました。

試験区の塩化カリ資材量は次の通りです。

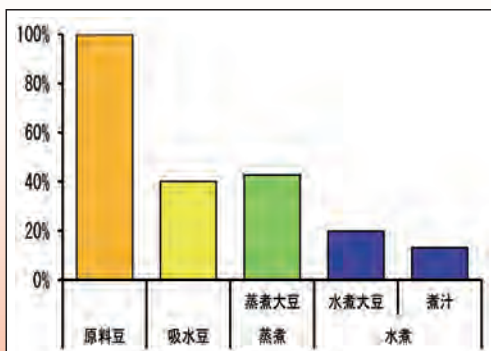
基肥 1 : 17kg を基肥で施用

追肥 1 : 17kg 基肥 + 17kg を減数分裂期に追肥

追肥 2 : 17kg 基肥 + 17kg を幼穂形成期に追肥

追肥 3 : 17kg 基肥 + 8kg を減数分裂期に追肥
+ 8kg を幼穂形成期に追肥

○ 農産物を加工したときの放射性セシウム含有量について



加工による放射性セシウムの増減には、次のような傾向が見られました。

減る : 煮る

薄まる : 吸水させる、副材料を加える

変わらない : ジュース、(ジャム)

濃くなる : 乾燥させる

加工品に移行しない : 搾油

加工品に移行する : 梅酒、梅漬け

左図 大豆を煮豆加工した場合の例

(原料大豆の放射性セシウムを 100 としたときの加工後の割合)

たい肥施用による土づくりのすすめ

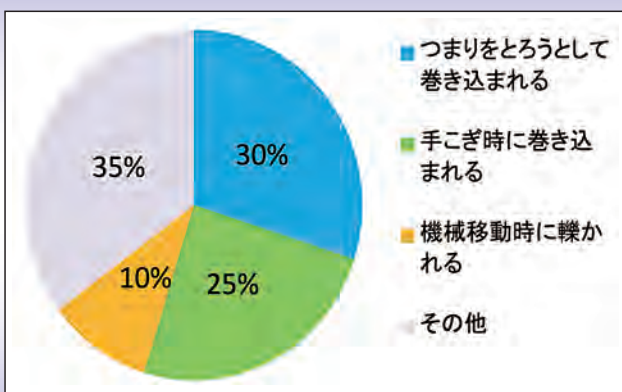
たい肥には農作物を栽培しやすくする土を作る効果があり、特に、家畜ふんを原料にしたたい肥には、その効果を大きく期待することができます。

【たい肥の効果】 ① 土壌の透水性・保水性・通気性が良くなる ② 土壌肥料の保持力やミネラル等の改良が図られる ③ たい肥が持つ肥料成分により化学肥料を低減できる

また、安全・安心な農産物を生産する「環境と共生する農業」に取り組むためにも、家畜ふんたい肥を上手に活用することが重要となります。

県では、家畜ふんたい肥の利用を図るため、平成 23 年度から継続して家畜ふんたい肥の放射性セシウム濃度の測定を実施し、安全性の確認に取り組んでおります。

放射性セシウム濃度が暫定許容値 400Bq/kg 以下のたい肥であれば、連年施用しても以前の土壌中の放射性セシウム濃度を超えることはありません。たい肥の利用を控えている生産者の皆さんも、安全な家畜ふんたい肥を活用して土壌を改良し、品質の高い農作物の生産に努めましょう。



コンバインによる収穫の際は、補助者の怪我に注意しましょう！！

コンバインでの農作業事故では、つまりを取ろうとしてスクリューに手を挟まれたり、手こぎ時に手が巻き込まれる事例が多くあります。

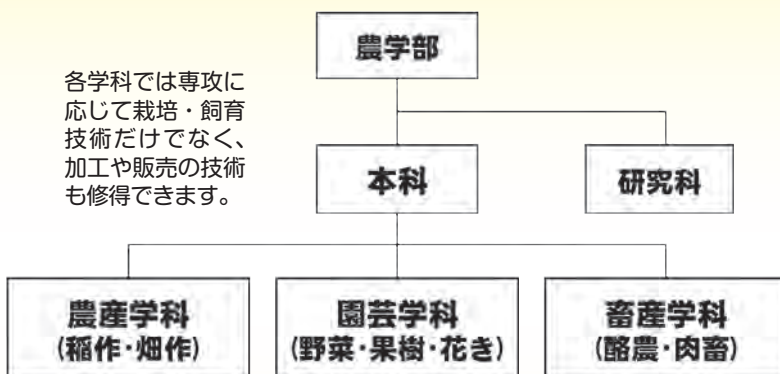
オペレーターだけではなく、補助者が怪我をすることが多いので、注意してください。

疲れが出やすい 12 時、15 時、帰り道は特に農作業安全に気をつけましょう！

来たれ！未来の農業者！！ 農業短期大学校学生募集中！！！！

福島県農業総合センター農業短期大学校では、平成 25 年度の学生を募集しています。

各学科では専攻に応じて栽培・飼育技術だけでなく、加工や販売の技術も修得できます。



卒業後は農業法人、農業協同組合等への就職だけでなく、4 年制大学等への進学も可能です。

【募集要項】

農業短期大学校に入校して、将来の農業を担ってみませんか？ 詳しい資料は相双農林事務所農業振興普及部で配布していますので、御来庁いただくかお電話ください。

(担当) 経営支援課 阿部
電話：0244-26-1152

	推薦入校試験	一般入校試験	
		前期募集	後期募集
受付	平成24年 10月2日(火)～ 10月12日(金)	平成24年 11月13日(火)～ 11月22日(木)	平成25年 1月8日(火)～ 1月18日(金)
試験科目	(1)小論文 (2)面接試験	(1)学力試験 国語総合 数学 I (2)面接試験	(1)学力試験 国語総合 数学 I (2)面接試験